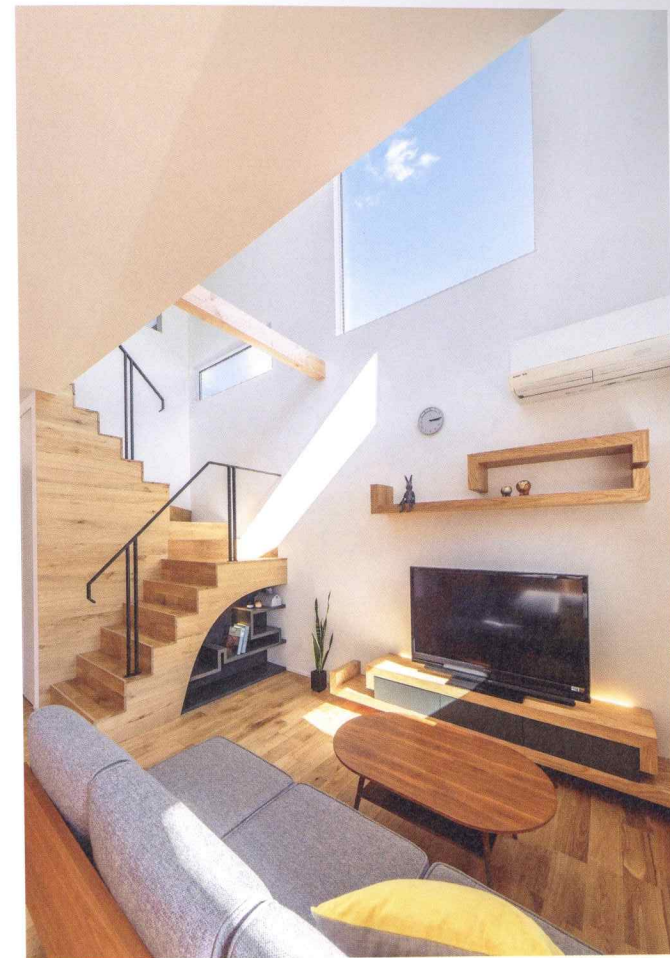


桜並木と室内をつなぐ
屋外のリビングルーム

アウトドアリビングの家
〈兵庫県神戸市〉
設計: seki.design

オープンなLDKの延長上に「アウトドアリビング」と名付けた約17畳もの広さのテラスを配置。室内から桜並木の景色までひとつにつながった心地よい空間をつくり上げています。



2 1
3

1 リビングルームは吹き抜けを配して開放感のある空間に。周囲からの視線が気にならない高い位置にハイサイドライトを設けて光を奥まで導いています。2 アウトドアリビングには日差し除けの屋根をかけ、ソファやテーブルを置いて室内と同じようにくつろげるよう計画。街路からの視線を遮る真っ白な壁には、川沿いの美しい桜並木だけを切り取るように開口を設けています。3 屋内外を連続する意匠で一体感を強調。必要なときにはガラスの引き戸で室内とアウトドアリビングを仕切ることができます。

夏も冬も快適に過ごせる屋根のあるアウトドア空間

戸建住宅が立ち並ぶ住宅街にありながら隣家の視線が気にならず、しかも1年を通してアウトドアを楽しめる。そんな開放感いっぱい心地よい住まいにオーナー一家は暮らしています。兵庫の神戸市内で新居のための土地探しをスタートした施主夫妻。そこで出会ったのは、裏手の南西側に川沿いの桜並木道が続き、春になれば見事な桜が咲き誇る絶景のロケーションでした。恵まれた敷地のポテンシャルを生かして、一年中桜並木の存在を感じられる家になりたい。そんな夫妻の希望を受け、建築家の石憲明さんは桜並木に向かってLDKと「アウトドアリビング」と名付けた約17畳の広々としたテラスを配置。大開口を介して室内からアウトドアリビング、桜並木の景色までが連続する住まいを提案しました。「アウトドアリビングには夏場でも過ごしやすい強い日差しや雨を遮る屋根やタープを設け、ソファやテーブルなどの家具を常設しました。ただ眺めるためや、たまにしか使わない庭やテラスではなく、室内と同じようにいつでも快適にくつろげる「リビング」新しい外部空間をつくることで、屋外空間を有効に活用しています」

居住性を重視したアウトドアリビングには、街路からの視線を遮る壁を配置。同時に桜並木や広大な空を切り取るピクチャーウィンドウを設けて、景色を眺めながら家族が思い思いに過ごすことができるようにしています。こうした外へと自然に誘う工夫は、室内外の素材使いや開口計画にも表れています。たとえばイタワバ材のウッドデッキは室内のフローリングと同じ方向に敷き、天井に施した照明の楕円形の意匠を外まで伸ばして内外のテイストを統一。加えてアウトドアリビングに面した幅3・6m、高さ2・5mの大開口はフルオープンできる仕様にし、床は室内との段差をなくしてフラットに。室内のリビングルームには吹き抜けと空だけが視界に入るハイサイドライトが設けられ、外とはまた違った視点で周囲の景色が楽しめます。過ごしやすいさを大切に暮らしとともにあるアウトドア空間。それらを居室とシームレスにつなげることで、桜並木を背景にした伸びやかな空間が完成しました。

/ DATA /

設計者：seki.design/石憲明 施工者：コネクシオホーム 所在地：兵庫県神戸市 家族構成：夫婦(40代)+子ども2人 主構造：木造 階層：地上2階 竣工年：2017年4月 設計期間：2016年4月～11月 施工期間：2016年11月～2017年4月 敷地面積：162㎡ 建築面積：65㎡ 延床面積：106㎡

